

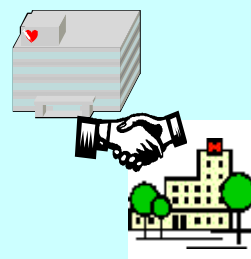
## 市立札幌病院新パワーアッププランのポイント

### 果たすべき役割

札幌市内には多くの病院があり、医療の供給体制は充実しています。こうした中で、市立札幌病院は、複数の病気を抱える患者さんへの医療や救急・周産期・災害医療など、採算等の面から民間の医療機関による提供が困難な医療を中心に、専門性の高い医療スタッフによる良質で高度な医療を将来にわたって安定的に提供し、市民の命の砦としての役割を果たします。

#### 役割1 医療機関との機能分化・連携の推進

地域の病院や診療所と密接に連携しながら、病状の軽い患者さんは地域の医療機関が担い、病状の重い患者さんは当院が担うという医療の役割分担を進め、「地域完結型医療」の確立を目指します。



#### 役割2 不採算医療・政策医療の提供

市立病院は、重篤な救急患者を受け入れる「三次救命救急センター」やハイリスク妊婦・低出生体重児を受け入れる「総合周産期母子医療センター」などの指定を受けています。こうした医療分野は、採算性や専門医師の確保の面から民間医療病院では提供が困難な不採算医療と位置づけられおり、市立病院はその役割を積極的に担っていきます。



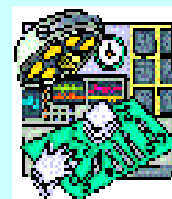
#### 役割3 がん治療の質の確保・向上

がんは、北海道において長年死因の第1位となっています。市立病院は、厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けており、複数の診療科や医療スタッフが協力して治療効果を高める「チーム医療」の実施など診療体制の充実を図り、がん治療の質の確保・向上に努めてまいります。



#### 役割4 高度で先進的な医療の提供

経験豊富で高度な医療技術を持つ医療スタッフと最先端の機器により、道内でも実施機関が限定される腎臓移植などの高度で先進的な医療を提供します。



#### 役割5 医療従事者の育成

医師の研修(臨床研修)や、看護師等の実習などを通じて、地域医療の担い手となる質の高い優れた医療従事者を育成し、地域の医療水準の向上に貢献します。

